

# かがやく花々

平和の子ら

学校法人平和学園  
平和学園小学校  
2016年度 学校だより 第10号  
〒253-0031  
神奈川県茅ヶ崎市富士見町5-2  
Phone 0467-87-1662/ 0131  
Fax 0467-87-0411  
サイト <http://www.aletheia.ac.jp/s/>

## 年間聖句 (2016年度)

このようにしてキリストに仕える人は、神に喜ばれ、人々に信頼されます。  
ローマの信徒への手紙 14章18節

## クリスマスだから共に

校長 橘 明子

4本のろうそくに火が灯り、平和学園のクリスマスは、およそ1100人が集まりイエスさまのお誕生をお祝いします。聖書に書かれている本当のクリスマスの出来事を、参加したひとり一人が心に留め共に賛美する時間は喜びでいっぱいになります。

2000年前、救い主の誕生を知った人々は、どのようなことを思い過ごしていたのでしょうか。世界が荒んで心が閉ざされ、希望が失われつつある暗闇の中に見える一つの光。誰もが待ち望んだ平和。羊飼いたち、博士たちもそして世界中の人たちが、神さまの御子のお誕生を心から喜び生きる希望を見出したのではないのでしょうか。当時の人々と同じようにイエスさまのお誕生を喜びつつ、心にとめてこれから先の自分たちのあゆみに希望を持ち、心からの感謝と賛美を忘れないで生きていきましょう。

一貫校である平和学園は、中学・小学校(5・6年生)の子どもたちが「進路を考える会」に参加して、現代社会の中で様々な活躍をしている方のお話を伺っています。今回は12月8日(木)に行われました。講師は、本学園の理事でもあります細谷早里さん。ご自分の名前の名前と同じ名前のインドのサリーと出会い、それをきっかけに、様々な国に興味関心を抱いて、現地を訪ね、ボランティア活動などを積極的に行っていたようです。お話を伺っていると教育の中に「隣人と共に生きる」という姿勢が感じられました。神さまとの約束「自分を愛するように隣人を愛しなさい」という言葉が胸に突き刺さります。思わず我が身を振り返り、様々な事柄を考える時間をいただきました。

また、細谷さんは自分の名前に誇りを持っていました。だからこそ、そこから様々なことが広がっていき

ました。大人になるに従って私たちは自分の名前に向き合うことが少なくなっていきます。しかしもう一度、自分の名前に誇りを持ち自分自身が尊い存在であることを大切にしていましょ。そして、まわりにいる人も同じように尊い存在であることも、心にとめていきましょう。

クリスマスの時に私たちひとり一人が神さまから愛されて、共に生きる喜びに気付かされています。

この二学期も日々の生活、行事にたくさんのお支えを頂き、ありがとうございました。楽しい冬休みをお過ごしください。

